

冷却塔循環水「水質濃縮度管理&排水システム」



CALFA “EC” Controller

CALFA CONDUCTIVITY CONTROLLER

ハードな現場でも「24 時間」水の濃縮度を管理



他とは違う **MADE IN JAPAN** へのこだわり
求められる「**耐久性**」

■ CALFA “EC” Controller (現場設置型電気伝導率計)

任意の電気伝導値を2点（高・低）登録いたします。水の濃縮が進み電気伝導度が「高」の値に達した時点で、電動ボール弁が解放され「低」の値まで排水し続けます。この範囲の中で常に「最適な水質」で冷却水をコントロールし、あなたに代って面倒な「水の濃縮度管理」を **CALFA “EC”** が全て「正確に」「確実に」コントロール。

NEW

重厚感あふれる「チタニウム合金製」4電極センサー！

NEW

特大 LED 表示！暗くても遠くても 抜群の「視認性」！

NEW

サビに強い！直射日光から守る！高い耐久性 SUS304「メタル・サンバイザー」を標準装備！！

CALFA “EC” なら

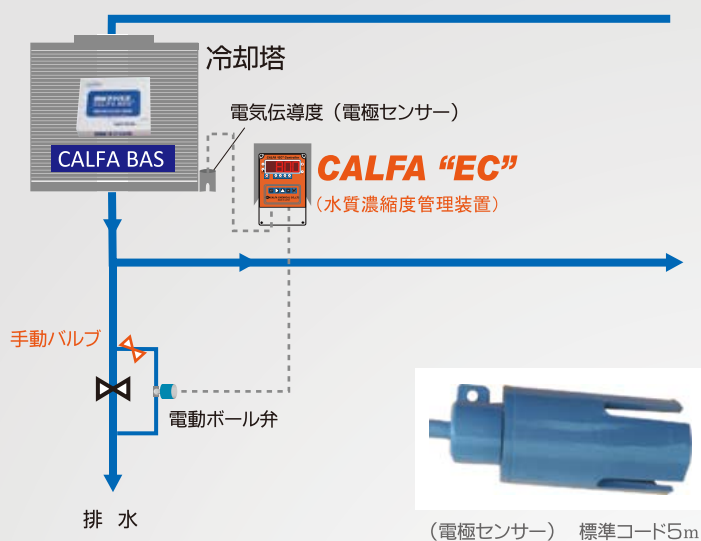
現場環境に合わせて「100V / 200V」どちらにも対応！

CALFA “EC” なら

機器 & プログラム「シンプル設計」で壊れにくい！

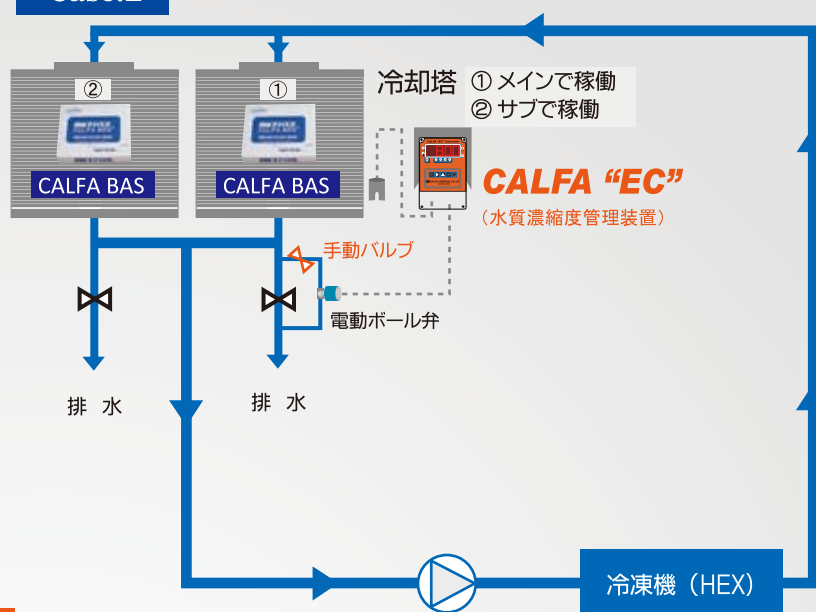
CALFA CHEMICAL CO.,LTD.

Case.1



電動ボール弁の前に手動バルブを必ず設置し、排水量を「調整」出来る様にして下さい

Case.2



[Case.1] 小型クーリングタワー 1 台での使い方です。

クーリングタワー下部の「排水管」を延長して増設致します。塔内清掃の際に異物を排出しやすくする為に、電動ボール弁は必ず左図のように「バイパス」を組んで取り付けて下さい。(鉄管・塩ビ管 / 可能)

電気伝導度を計測する「電極センサー」はクーリングタワー内部に引き込み、センサー全体が冷却水に浸かるように配置します。

[Case.2] 「水質1種類」 = **CALFA “EC”** × 1台

複数台のクーリングタワーが連結されていても、「1系統（水質が1種類）」であれば **CALFA “EC”**（水質濃縮度管理装置）の設置も1台で結構です。コントロールユニット・センサー・電動ボール弁は「メインで稼働する」クーリングタワー側に設置して下さい。

取扱説明書 **CLICK!!**

主な製品仕様

型 式	CALFA"EC" CONTROLLER
定格電源電圧	AC 90-240V 50/60Hz 約 10VA
出力接点容量	接点容量 AC250V 5A (抵抗負荷)
周囲温度	-10 ～ 50℃
伝導率測定範囲	0 ～ 2000 μS/cm
ディスプレイ	4 桁赤色 LED
本体重量 (制御 BOX)	約 2Kg (専用防水カバー含む)
本体寸法 (制御 BOX)	147(W) × 252(H) × 125(D) /mm
専用防水カバー	屋外用：保護等級 IP54 (ポリカーボネート)
本体寸法 (サンバイザー設置時)	147(W) × 252(H) × 232(D) /mm
サンバイザー材質	SUS304
電 極 材 質	本 体：PVC 電極部：チタニウム合金

※電極（センサー）ケーブル長さは標準で5mです。その他の長さはお問い合わせください。
※電動ボール弁は電源が 100V・200V によって仕様が異なりますので「別売り」となります。



冷却塔内部には、弊社の水処理剤 CALFA BAS（カルファバス）をご使用をお勧めします。 ” CALFA BAS ” がすでに付着した熱交換器内のスケールをクリーニング致します。熱交換器内の異物を除去しなければ、いくら「水質浄化」をしても「省エネ効果」は得られません。

【製造元】

CALFA CHEMICAL

カルファクトリカル株式会社

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 1-19-6

TEL:045-504-1120 FAX:045-501-0843

WEB:<http://www.calfa.net>

「現場環境」に合わせての組み合わせ

(濃縮度管理)	(濃縮度管理) (スケール除去・予防) (防錆)	(濃縮度管理) (スケール除去・予防) (防錆) (バクテリア・藻類)	(濃縮度管理) (スケール除去・予防) (防錆) (バクテリア・藻類) (SS除去:水質浄化)
			
			
			
※ 冷却水の「濃縮度管理」は、全てにおいて「必要」です。 面倒な強制ブローは「機械化」して正確・確実にいきましょう。			